

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市短歌会館

団体名：ホームックス株式会社名古屋支店

※複数の団体により構成されるグループは
各構成団体の名称もあわせて記入する。

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

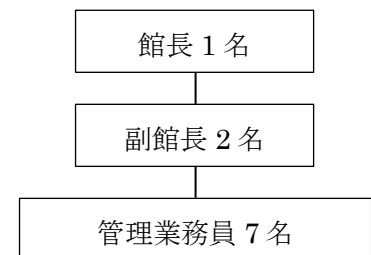
<管理運営方針>

- 施設の設置目的及び名古屋市の施策に則り、平等利用のもと開かれた施設運営を行います。
- 施設を利用する方が、安全・安心・快適に過ごせる施設環境を実現します。
- 幅広い世代へ向けて、短歌・俳句等の文化振興を目指します。

②管理運営体制

<職員配置・養成計画>

- 原則右記の体制とし、施設使用状況や催事等繁忙日については臨機応変に対応し、配置人員の増員を図ります。
- 館長・副館長は勤務シフト及び労働時間管理をマネジメントし、本部業務部と連携を図りながら、職員の労働安全衛生の確保に努めます。
- 計画的な研修により、平等利用の確保とサービス品質向上を目指すとともに、スタッフ自らの学ぶ姿勢を支援するなど充実した研修内容を整え、スタッフの向上心を育みます。



<情報の保護・公開に関する計画>

- 「個人情報保護法」や「名古屋市情報あんしん条例」、「名古屋市情報公開条例」等関係法令に則り、個人情報の保護に努めるとともに、プライバシーマーク取得企業として個人情報を適正に取り扱う組織体制を構築します。
- 全スタッフに個人情報保護研修を実施し、理解度を深め知識の定着を図り、関連法規の周知徹底を図ります。

<法令遵守に関する計画>

- OSDGs 委員会を設置し、コンプライアンス推進体制を確立しています。
- 危機管理広報マニュアルに則り訓練を実施し、危機発生時に迅速に対応できるようにしています。
- 各種ハラスメントや労災等の相談受付として顧問弁護士や産業医による相談窓口や、危険行為の抑止、不正への迅速な初期対応のため、内部通報窓口を設けています。
- 四半期に一度セルフモニタリングを実施し、運営状況を確認しています。また、社内専門機関による安全パトロールにより職場の安全管理を徹底しています。
- コンプライアンス意識の向上に向けた人材育成を行っています。

＜施設維持管理・安全管理＞

- これまでの維持管理経験を踏まえ計画的な維持管理を実現し、安全衛生と法令を遵守し、品質を維持します。
- 安全管理については、全スタッフを対象に避難誘導訓練、普通救命講習を行い、緊急時に迅速に動ける体制を構築します。
- 短歌会館専用マニュアルの見直しを年 1 回行うとともに、館内に緊急連絡網を掲示し全スタッフへの周知を徹底します。
- 事故発生時は緊急対応マニュアルに則り、館長を中心に全スタッフが人命を第一に行動します。また、名古屋支店や近隣施設と相互に連携を図り、バックアップ体制を構築します。

＜施設の平等利用に関する計画＞

- 名古屋市短歌会館の設置目的・役割を認識し、地方自治法をはじめとする各関係法令を遵守し、市民の平等・公平な運営を確保します。
- 館内に利用受付方法や抽選予約方法を掲示し、初めての方にも分かりやすい案内を行うとともに、ホームページや SNS の施設空き情報の発信により公平性を確保した情報提供を行います。
- 利用者アンケートにより利用受付方法の見直しを行い、予約日の短縮や専用用紙による予約受付を開始しています。
- 利用者の意見・要望は施設運営の改善の機会と捉え真摯に向き合い、迅速に対応します。

（２）実施業務の計画について

①指定管理業務

＜施設の活用に関する計画＞

- 市民の活動、交流の場の受け皿として、市民の活躍の場を創出するとともに、未来の名古屋の文化を担う子ども・若者の文化的体験の機会を広げ、施設の設置目的である市民文化の向上を目指します。
- 文化活動に従事する方の発表の場や、日本古来の文化芸術を楽しむ機会を提供するため、文化祭や「古典の日」記念事業等を開催します。

＜短歌・俳句等の普及啓発に関する計画＞

- 短歌振興及び短歌文学を身近に感じていただくため、歌人会と共催して作品の募集、表彰、記念講演を行います。
- 子どもや若者にも文化を広げる目的で、愛知で活躍されている歌人や俳人、活動グループ等にお声がけし、短歌や俳句の魅力を伝えるイベントを実施します。
- 俳句活動団体の作品展や、俳句初心者の方でも気軽に始められるよう、俳句づくりのコツなどを紹介することで、利用者が俳句に親しめるようにします。

＜地域団体等との連携に関する計画＞

- これまで同様、事業開催時に連携・協力いただいた団体や、地域イベントを実施されている団体と体との連携を深め、文化振興における相乗効果を発揮します。
- 近隣中学校の職場体験の受け入れを行い、若年層に向けた施設認知度の向上と文化活動への理解を深めます。

＜アウトリーチ事業に関する計画＞

○短歌・俳句の身近な場での体験づくりとして、市内図書館や生涯学習センターで、歌集展示や競技かるたの開催、短歌講座等を実施します。

○短歌会館にある青本文庫と青木禮子氏の短歌作品を元に、市内や近隣市の文化施設で展示を行い、短歌会館の認知度向上に努めます。

＜サービスの向上に関する計画＞

○名古屋市の文化芸術の振興、「芸どころ名古屋」に相応しい文化の醸成に向けて、利用者に寄り添ったサービスを提供します。

○施設を快適に利用いただけるよう、備品の充足やチラシ配架の工夫を実施します。また、高齢者の方や障害者・外国人の方にも気持ちよく利用いただけるよう細かなところにも配慮します。

○満足度調査の手法・反映方法としては、「ご意見箱」「利用者アンケート」「事業参加アンケート」「メール受付」「利用者懇談会」「ヒアリング」により聴取します。収集したご意見の緊急性・重要性を分析し、即座に業務改善に反映し、サービス品質の向上に努めます。

＜利用促進に関する計画＞

○月曜開館を継続し、利用者の活動枠を広げます。

○新たなジャンルの教室を開催し、文化活動に馴染みのない利用者層の獲得を目指します。

○広報の取り組みとして、ホームページや SNS 等を活用した情報発信を積極的に行い、施設を PR します。

○当日の空き室情報を SNS で発信し利用拡大につなげています。

②自主事業（実施を予定する場合）

（３）収支計画について

①管理運営にかかる費用等

提案総額（各年度総計）

令和 7 年度	27,525 千円
令和 8 年度	28,214 千円

収入（指定期間を通じた項目別内訳）

（単位：千円）

費 目	内 容	金 額
指定管理料	名古屋市からの指定管理料	55,100
事業収入	提案事業収入	60
自動販売機収入		520
助成金・協賛金収入		0
その他収入	コピー代、展示室電気代等	59
収入計		55,739

支出（指定期間を通じた項目別内訳）

（単位：千円）

費 目	内 容	金 額
人件費		38,594
光熱水費	電気、ガス、水道	3,322
事務費	消耗品費、通信費、印刷費、自動販売機用貸付料	1,076
管理費	施設管理、清掃及び廃棄物、施設警備、AED リース、自販機飲料仕入れ	4,690
事業費 （施設使用料含む）	提案事業費	320
保険料	本社で一括加入	0
租税公課費 （事業所税を除く）	印紙代等	4
本社・事業所経費	労務管理等	7,733
支出計		55,739